

- ・『地域の自治活動・地域の見守り、交流』に関する意見は90件あり、「地域の交流・支えあい・見守り活動が大切であるので充実させてほしい」、「若い世代との交流、連携が大切である」、「地域の役員・民生委員を知らない」、「民生委員が活動していない」、「活動内容・地域の情報が入ってこない」といった意見があった。
- ・『病院・医療制度・施設』に関する意見は71件あり、「医療施設を充実させてほしい」、「医療費負担を軽減してほしい」、「在宅医療に力を入れてほしい」といった意見があった。
- ・『認知症・高齢者虐待』に関する意見は66件あり、「認知症に対する介護保険サービスの適用を充実させてほしい」、「自分自身がこれから認知症になるかどうか不安である」、「施設などでの虐待が多いので、高齢者虐待に対しての体制づくりをしてほしい」といった意見があった。
- ・『ひとり暮らし、孤立死、災害、日中独居』に関する意見は63件あり、「ひとり暮らしのため日常生活や将来が不安である」、「ひとり暮らし高齢者の見守り体制・支援を充実させてほしい」、「家庭訪問をしてほしい」、「緊急時や災害時などの備えを充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『介護保険料』に関する意見は56件あり、「介護保険料が年金収入に対して高すぎる」、「介護保険料が年々増額されているので安くしてほしい」といった意見があった。
- ・『要介護認定』に関する意見は25件あり、「要介護認定の基準が厳しい」、「個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい」、「認定結果に納得がいかない」、「認定までに時間がかかりすぎる」といった意見があった。
- ・『その他』の意見は67件あり、「まだ高齢者としての実感がないので、身近なこととして回答できなかった」、「今のところ特に要望はない」、「施策を利用していないので分からない」、「生活や病気の治療で精一杯で考える時間がない」といった意見があった。



# ひとり暮らし 編



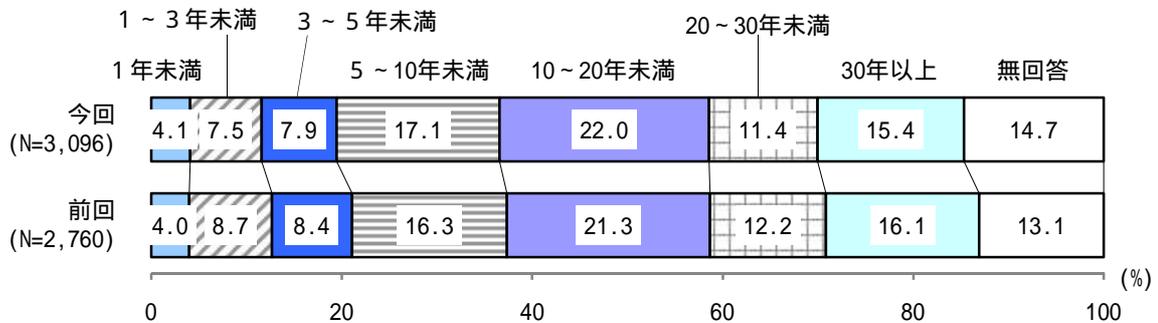
### 3 ひとり暮らし調査結果

#### (1) ひとり暮らし調査

##### 問1 ひとり暮らしの期間

ひとりでお住まいの期間はおよそ何年間ですか。( はひとつ)

【図1 ひとり暮らしの期間】

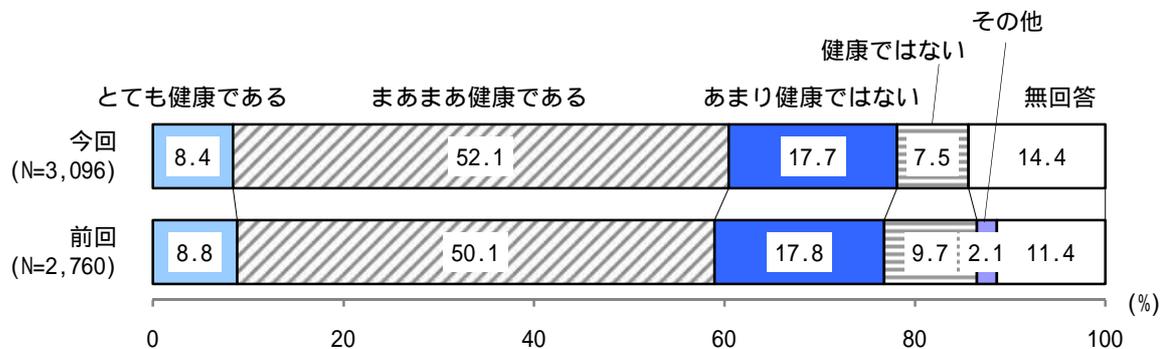


ひとり暮らし世帯の回答者の「ひとり暮らしの期間」については、「10～20年未満」が22.0%で最も多く、次いで「5～10年未満」(17.1%)、「30年以上」(15.4%)となっている。前回調査と比較すると、「20～30年未満」、「30年以上」は前回よりも低くなっている。(図1)

##### 問2 健康状態

あなたの健康状態についてお答えください。( はひとつ)

【図2 健康状態】



今回調査は、「その他」がなかった。

ひとり暮らし世帯の回答者の健康状態については、「まあまあ健康である」が52.1%で最も多く、次いで「あまり健康ではない」が17.7%となっている。「とても健康である」(8.4%)と「まあまあ健康である」をあわせた『健康である』は、60.5%となっている。

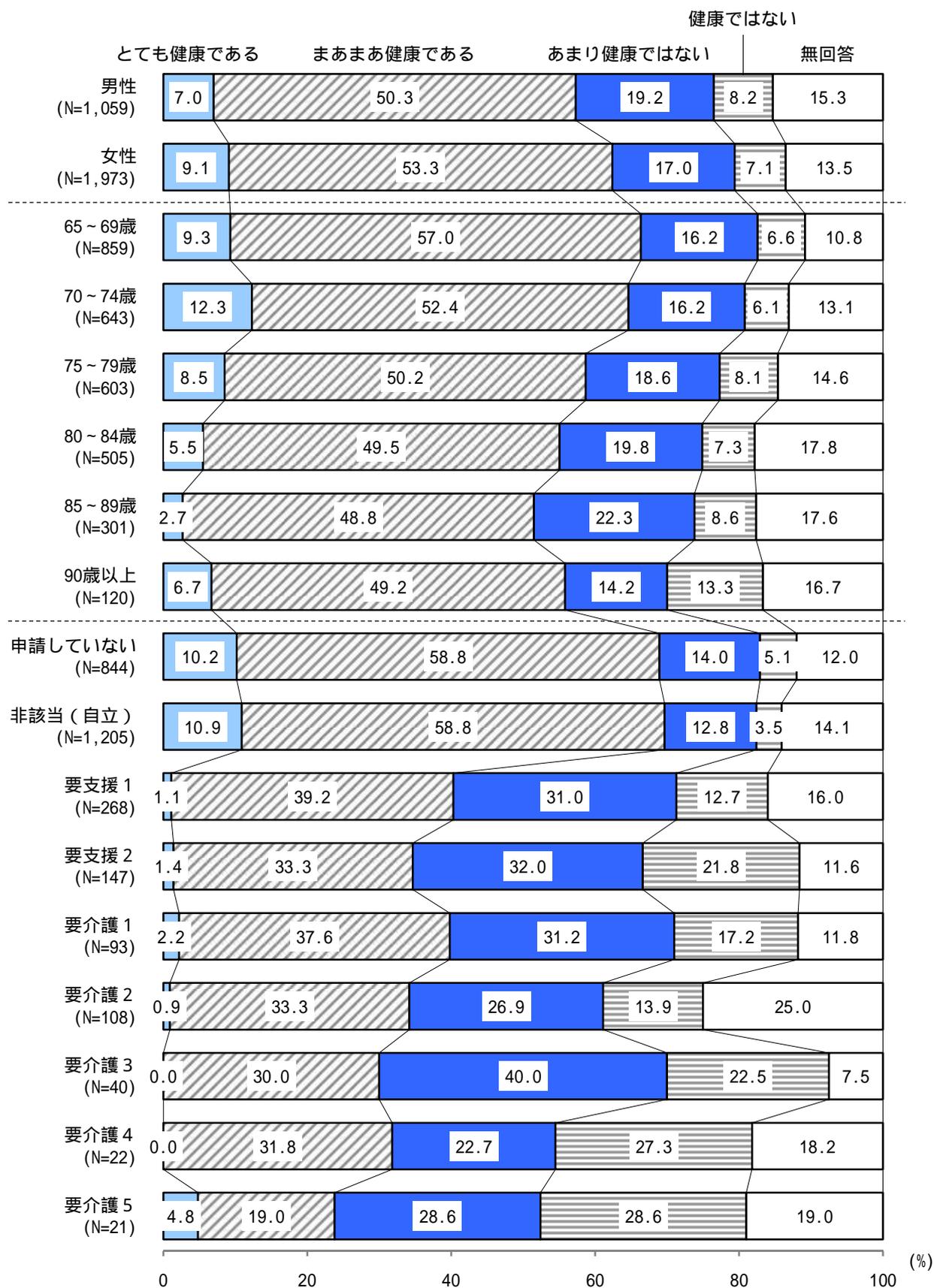
前回調査と比較すると、「あまり健康ではない」と「健康ではない」をあわせた『健康ではない』は、前回より2.3ポイント低くなっている。(図2)

性別でみると、それほど大きな差はないが、男性の方が『健康である』の割合が低い。

年齢別でみると、高齢になるほど健康ではないとの回答割合が高くなっている。

介護度別でみると、「申請していない」「非該当(自立)」は、『健康である』が7割前後と高い。一方、概ね介護度が上がるほど、健康でないとの回答が多くなっており、要介護3では「あまり健康でない」との回答が4割と他の介護度より高くなっている。(図2-a)

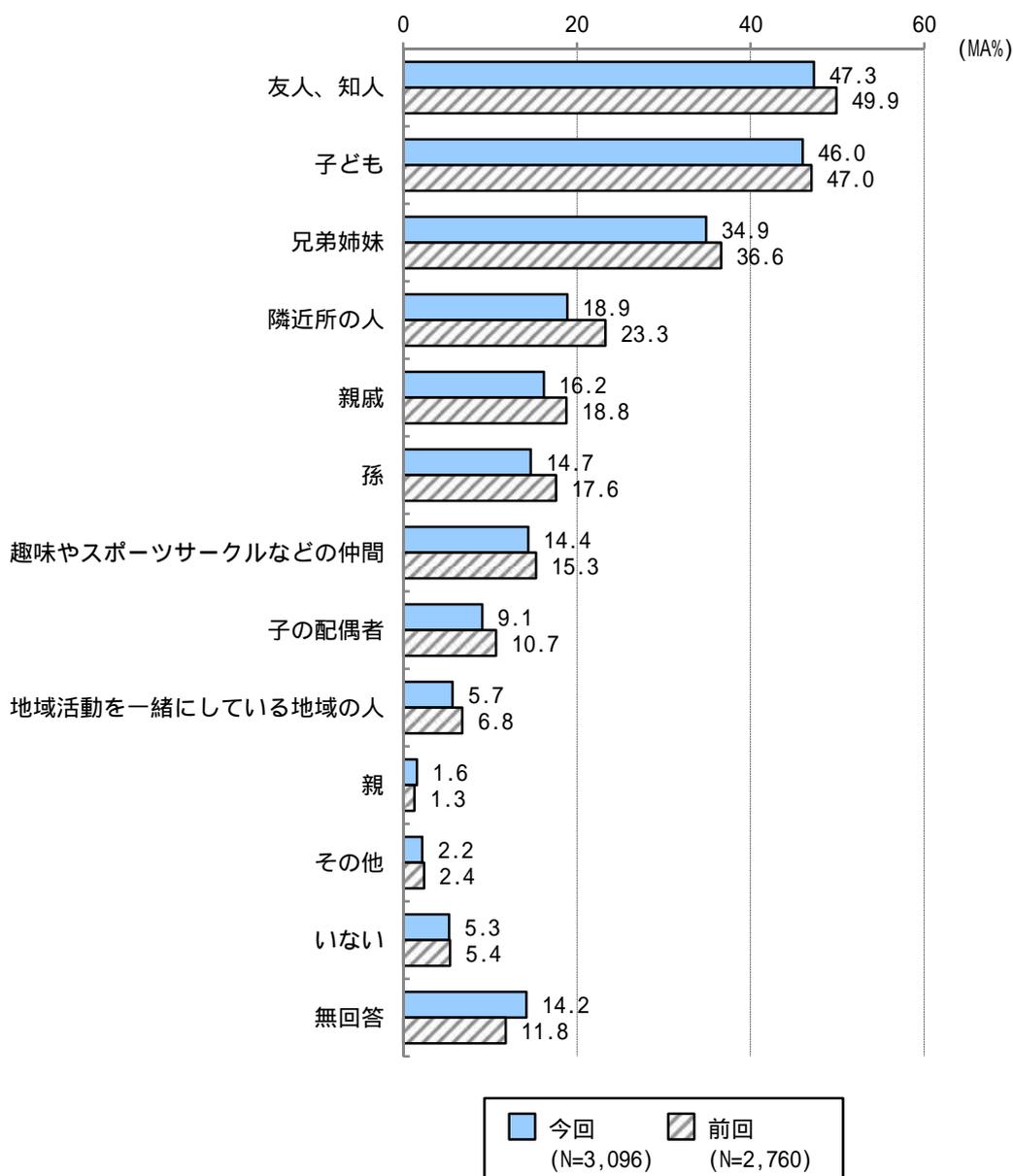
【図2-a 健康状態（性別・年齢別・介護度別）】



### 問3 日頃行き来したりする方

あなたは、日頃、電話などを含め連絡を取り合ったり、行き来したりする方はいらっしゃいますか。(はいいくつでも)

【図3 日頃行き来したりする方】



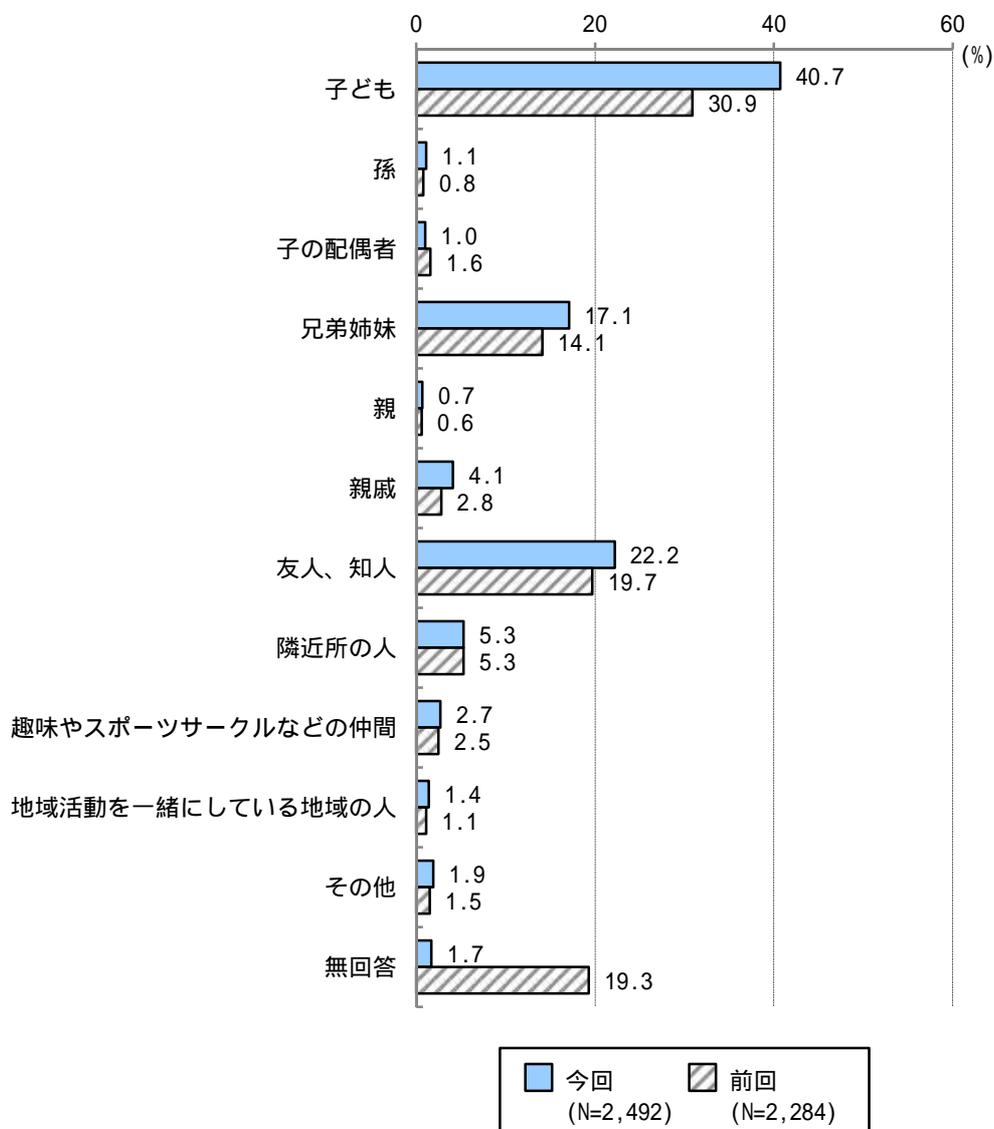
ひとり暮らし世帯の回答者の電話などを含め連絡や行き来する方については、「友人、知人」が47.3%と最も多く、次いで「子ども」が46.0%となっている。一方、日頃誰とも行き来のない「いない」は5.3%となっている。

前回調査と比較すると、全ての項目で前回より低い割合となっている。(図3)

問4 もっともよく行き来している方

問3のうち、あなたが、もっともよく行き来したり、親しくしている方はどなたですか。(はひとつ)

【図4 もっともよく行き来している方】



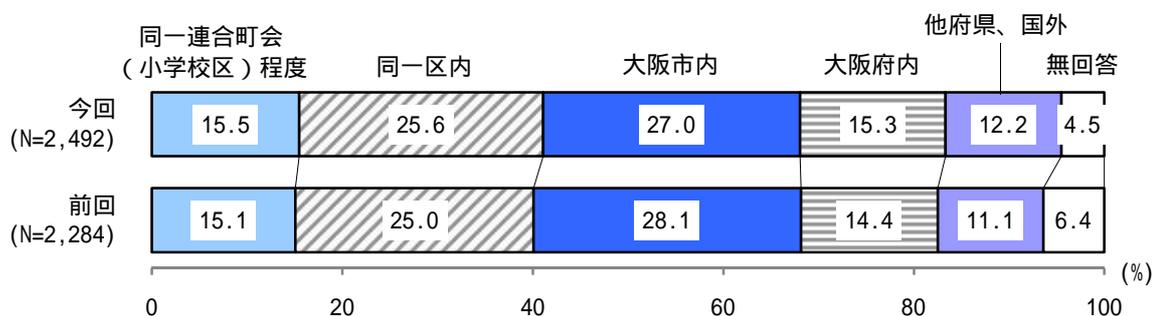
最もよく行き来している相手については、「子ども」が40.7%と最も高く、次いで「友人、知人」(22.2%)、「兄弟姉妹」(17.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「子ども」は前回より9.8ポイント高くなっている。(図4)

### 問5 もっともよく行き来したりする方の家の場所

もっともよく行き来したり、親しくしている方の家はどこにありますか。( はひとつ)

【図5 もっともよく行き来したりする方の家の場所】



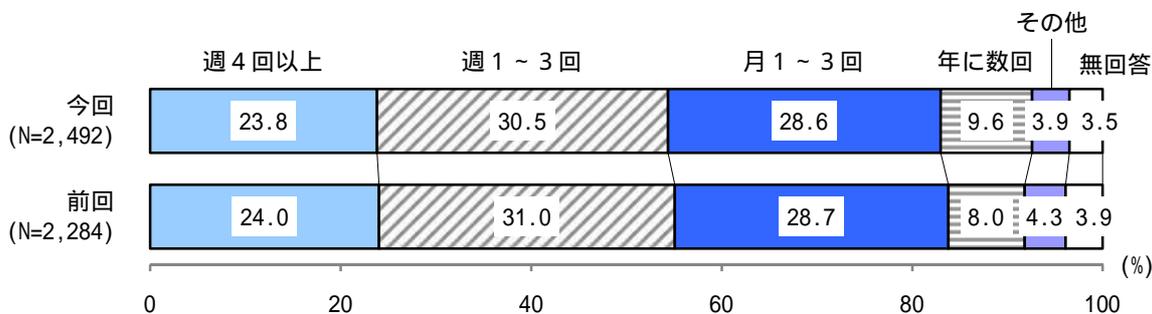
もっともよく行き来している相手の家の場所をたずねると、「大阪市内」が27.0%と最も多く、次いで「同一区内」が25.6%となっている。

前回調査と比較すると、概ね同様の構成割合となっている。(図5)

### 問6 もっとも親しくしている方との行き来の頻度

もっともよく行き来したり、親しくしている方とはどのくらいの頻度で連絡したり行き来したりしていますか。( はひとつ)

【図6 もっとも親しくしている方との行き来の頻度】



ひとり暮らし世帯の回答者のもっとも親しくしている方との行き来の頻度については、「週1～3回」が30.5%で最も多く、次いで「月1～3回」(28.6%)、「週4回以上」(23.8%)となっている。

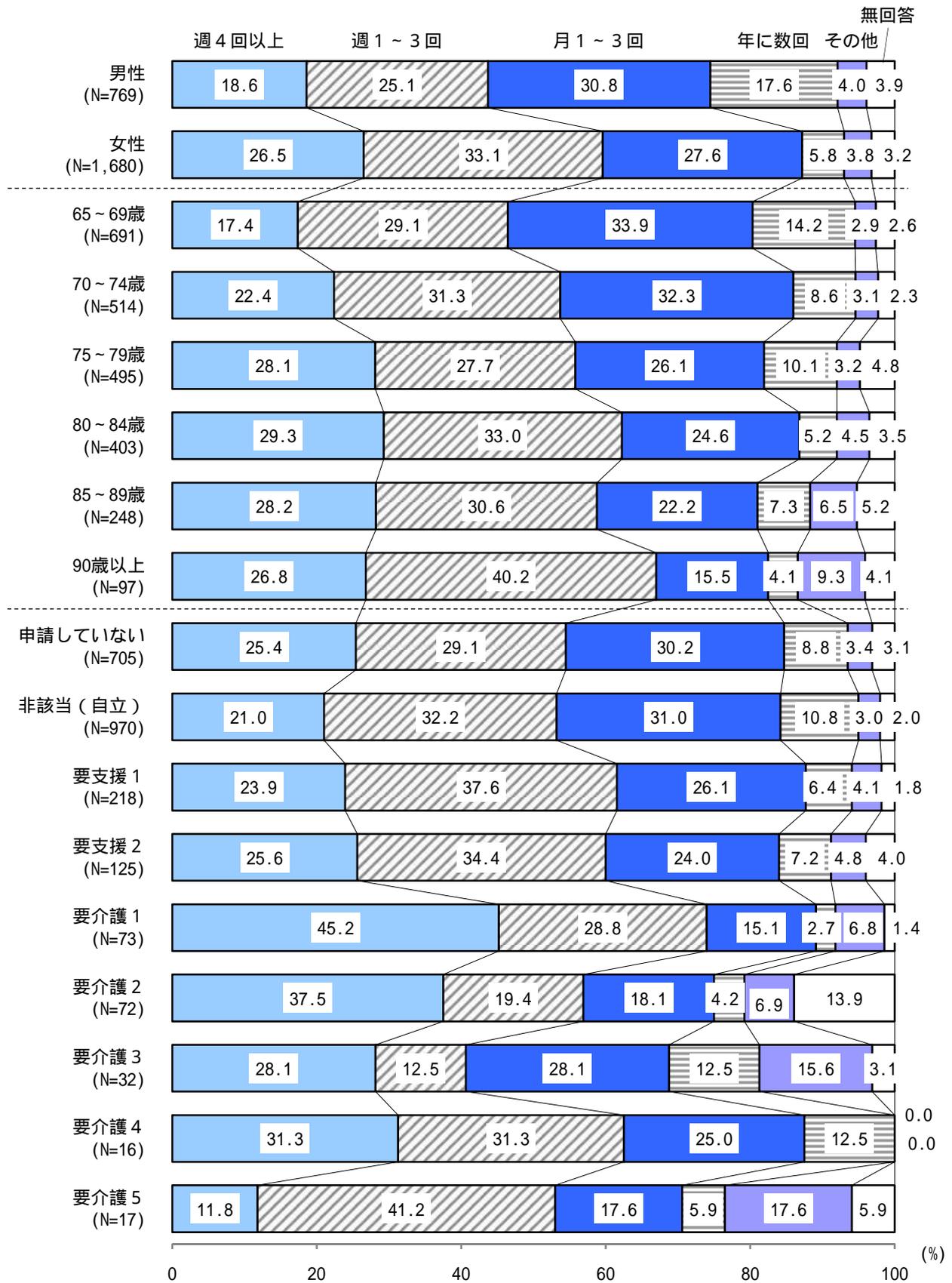
前回調査と比較すると、概ね同様の構成割合となっている。(図6)

性別でみると、男性よりも女性の方が人との行き来の頻度が多い。また、「年に数回」との回答は、男性の方が割合が高い。

年齢別でみると、週1回以上は行き来がある人は高齢になるほど高い割合となっている。

介護度別でみると、週1回以上は行き来がある人は要介護1で最も割合が高く、要介護3で最も低くなっている。(図6-a)

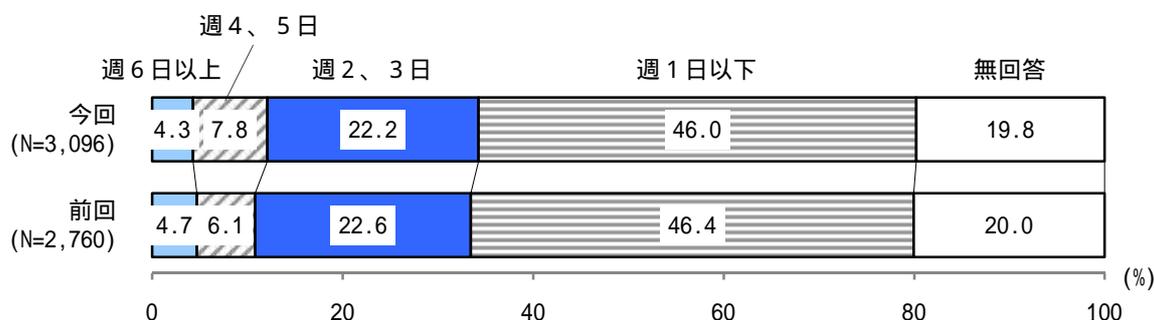
【図6-a もっとも親しくしている方との行き来の頻度（性別・年齢別・介護度別）】



問7 誰とも話をしない日は週に何日か

あなたが、1週間のうち、誰とも話をしない日は何日くらいですか。( はひとつ)

【図7 誰とも話をしない日は週に何日か】



ひとり暮らし世帯の回答者の、誰とも話をしない日は週に何日かについては、「週1日以下」が46.0%で最も多く、次いで「週2、3日」(22.2%)となっている。また、誰とも話をしない日が週のほとんどである「週6日以上」は4.3%となっている。

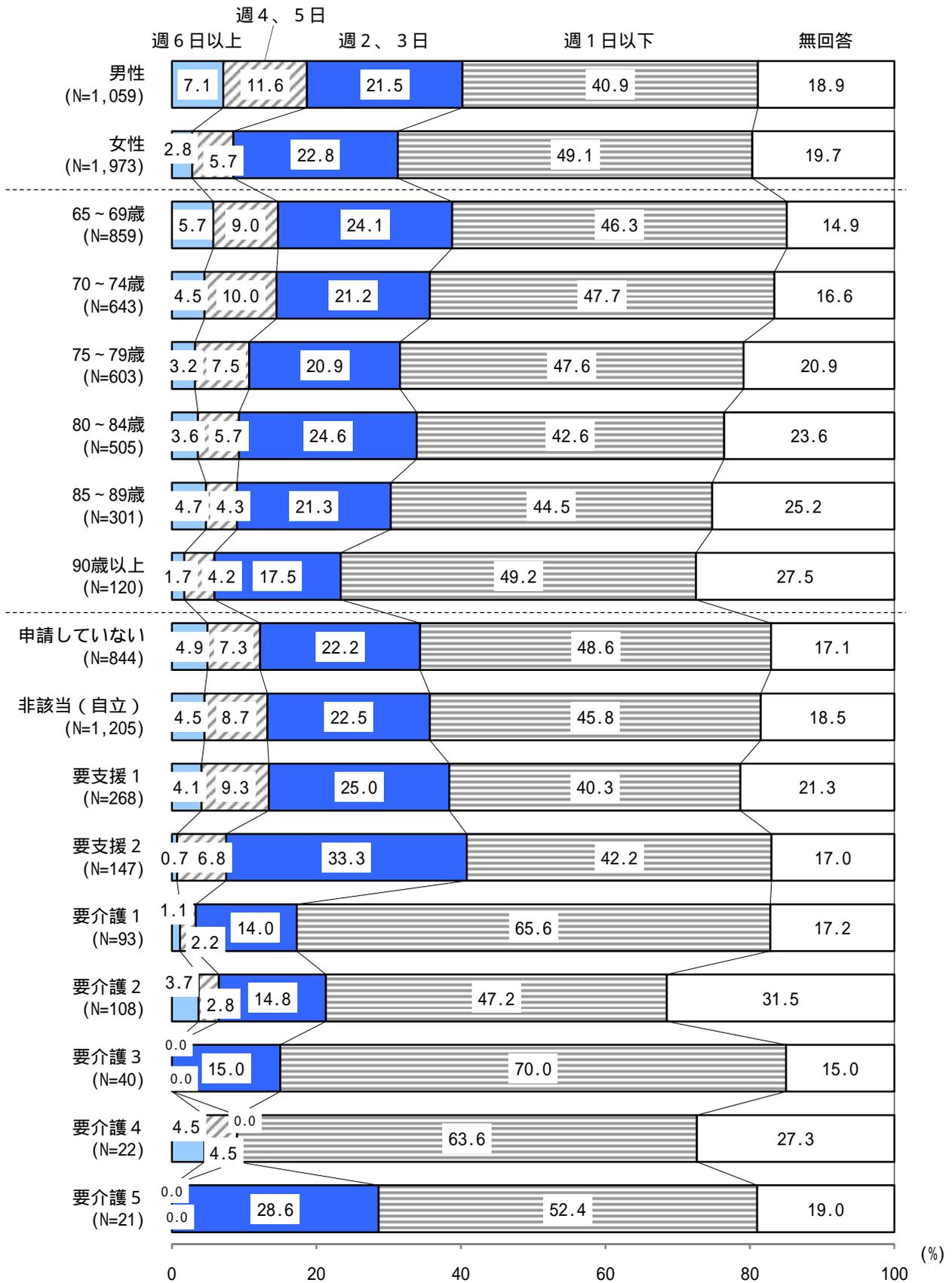
前回調査と比較すると、概ね同様の構成割合となっている。(図7)

性別でみると、「週6日以上」は、女性より男性の方が割合が高い。

年齢別でみると、「週6日以上」は、65～69歳が最も高く、次いで70～74歳となっている。

介護度別でみると、「週6日以上」は、申請していない、非該当(自立)、要支援1、要介護4で4%台となっている。(図7-a)

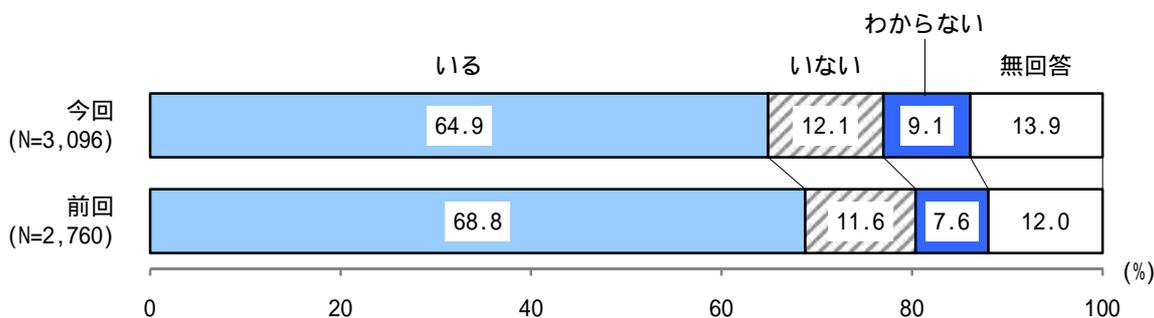
【図7-a 誰とも話をしない日は週に何日か（性別・年齢別・介護度別）】



問8 病気等の緊急時にすぐに来てくれる人の有無

あなたが、急な怪我や病気などの時にすぐに来てくれる人はいますか。( はひとつ)

【図8 病気等の緊急時にすぐに来てくれる人の有無】



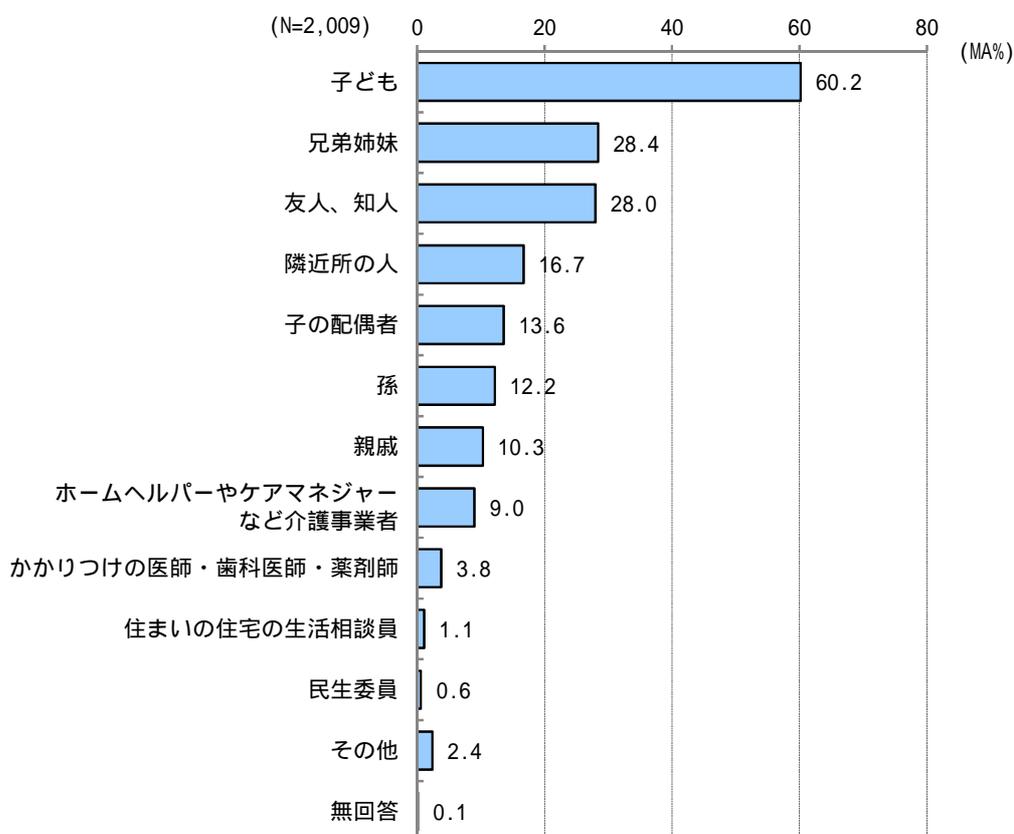
ひとり暮らし世帯の回答者の、病気等の緊急時にすぐ来てくれる人の有無では、「いる」が64.9%で、「いない」は12.1%となっている。

前回調査と比較すると、「いる」は前回より3.9ポイント低くなっている。(図8)

問8-1 すぐに来てくれる方との関係

【問8で「1 いる」と回答された方におうかがいします。】  
その方は誰ですか。( はいくつでも)

【図8-1 すぐに来てくれる方との関係】

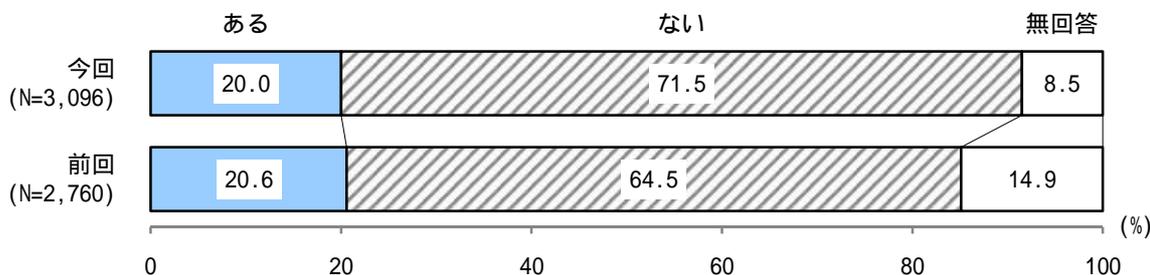


病気等の緊急時にすぐ来てくれる人がいると回答した人に、すぐに来てくれる方についてたずねると、「子ども」が60.2%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」(28.4%)、「友人、知人」(28.0%)となっている。(図8-1)

問9 直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるか

この一年間にけがや病気などで3日以上、身体的介護や生活介護が必要な状態になったことがありますか。( はひとつ)

【図9 直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるか】



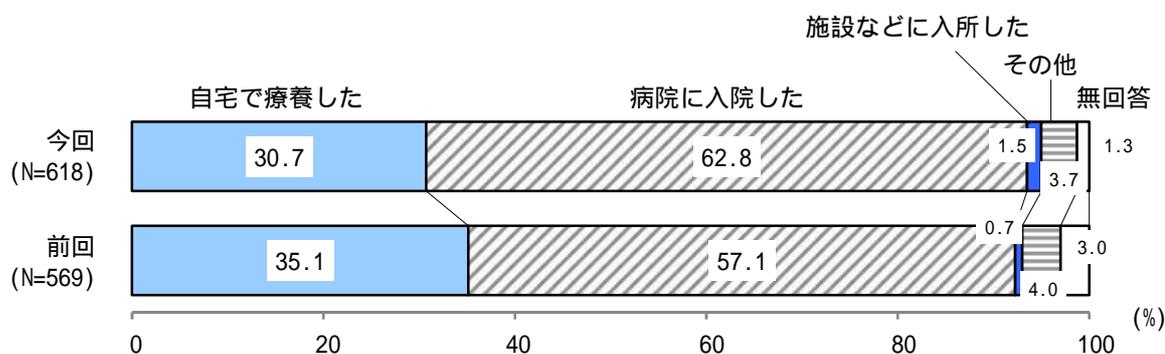
ひとり暮らし世帯の回答者の、直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるかについては、「ある」が20.0%で、「ない」は71.5%となっている。

前回調査と比較すると、「ない」は前回より7.0ポイント高くなっている。(図9)

問9-1 介護を要した際、どこで療養したか

【問9で「1 ある」と回答された方におうかがいします。】  
その時、どこで(どのように)療養されましたか(介護保険制度によるサービスを受けた場合を除く)。複数回療養された場合は、最も長い期間療養されたときのことについて、お答えください。( はひとつ)

【図9-1 介護を要した際、どこで療養したか】



介護が必要になったことがあると回答した人に、どこで(どのように)療養したかについては、「病院に入院した」が62.8%で最も多く、次いで「自宅で療養した」が30.7%となっている。(図9-1)

## 調査内容についてのご意見や、その他お困りごと

ここまでこの調査でお聞きした調査内容についてのご意見や、その他お困りごとなどがありましたらお教えてください。

自由記述のあった件数は605件あった。

- ・『介護予防・自身の健康維持・自立・交流の場』に関する意見が143件と最も多く、「自分のことは自分でできるように心がけている」、「自立した生活が送れるよう健康管理するなど、高齢者自身が自立の意識を持つことが大切である」、「今は健康だが病気にかかった時など将来のことが不安である」、「自身の健康状態について不安がある」、「仕事をしていないので金銭面で不安である」といった意見があった。
- ・『実態調査そのもの』に関する意見は97件あり、「今元気であり困ることはないが今後のために高齢者施策のことにについて勉強しようと思った」、「設問が多すぎる」、「設問の内容が難しい」、「目が悪いので文字が見えない」という意見があった。
- ・『ひとり暮らし、孤立死、災害、日中独居』に関する意見は79件あり、「日常生活や将来が不安である」、「病気や怪我、夜間、入浴中などに何かあった時のことが不安である」、「ひとり暮らしの見守り体制・支援を充実させてほしい」、「ひとり暮らしは孤独である」、「災害時や体調の急変など時が不安である」、「災害時の連絡網を確立させてほしい」、「緊急通報システムを充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『行政全般』に関する意見は48件あり、「生活保護受給者より国民年金受給者の生活が苦しいことは納得いかない」、「国民年金だけでは生活が苦しく、将来のことが不安である」、「国民健康保険料や介護保険料の負担が厳しい」といった意見があった。
- ・『高齢者施策全般』に関する意見は41件あり、「生活支援を充実させてほしい」、「満足・感謝している」、「今後の施策に期待している」といった意見があった。
- ・『介護保険制度・介護現場（職員）』に関する意見は26件あり、「必要になった時にすぐ使えるよう、利用申請などの手続きがスムーズにできるようにしてほしい」、「介護保険サービスの種類や利用方法がわからない」といった意見があった。
- ・『仕事、地域社会への貢献』に関する意見は26件あり、「今は元気であり現役で仕事を続けている」、「元気な高齢者は働くべきである」、「高齢者の就労支援、働く場の提供を充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『施設サービスの充実』に関する意見は24件あり、「特養等の料金を安くしてほしい」、「入所までの待機が長すぎるので、入所希望者がすぐに入所できるよう施設を充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『地域の自治活動・地域の見守り、交流』に関する意見は24件あり、「地域の交流・支えあい・見守り活動を充実させてほしい」、「マンションでひとり暮らしのため近所付き合いがなく情報が入ってこない」、「個人情報提供したくない」、「プライバシーに立ち入らないでほしい」といった意見があった。
- ・『情報提供』に関する意見は23件あり、「高齢者施策が行われていることすら知らなかった」、「高齢者に分かりやすく情報発信してほしい」といった意見があった。

- ・『住まい・まちづくり』に関する意見は21件あり、「市営住宅に入れるようにしてほしい」、「高齢者の住宅改修や家賃補助を充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『病院、医療制度・施設』に関する意見は17件あり、「自宅で最期を迎えたいので、在宅医療・往診体制を充実させてほしい」、「医療費負担を軽減してほしい」といった意見があった。
- ・『要介護認定』に関する意見7件あり、「認定結果に納得いかない」、「個々の状況や家族の負担を考慮して判断してほしい」といった意見があった。
- ・『認知症、高齢者虐待』に関する意見は5件あり、「認知症の症状が出た時が不安である」、「認知症の症状が出た時にかかりつけ医がないので、どの病院に行けばよいかわからない」といった意見があった。
- ・『介護保険料』に関する意見は3件あり、「介護保険料が高すぎる」、「収入が低い人は介護保険料を下げしてほしい」といった意見があった。
- ・『その他』の意見は21件あり、「生活保護を受けていない高齢者は生活が苦しく、預貯金を取り崩して生活している」といった意見があった。

本人調査における

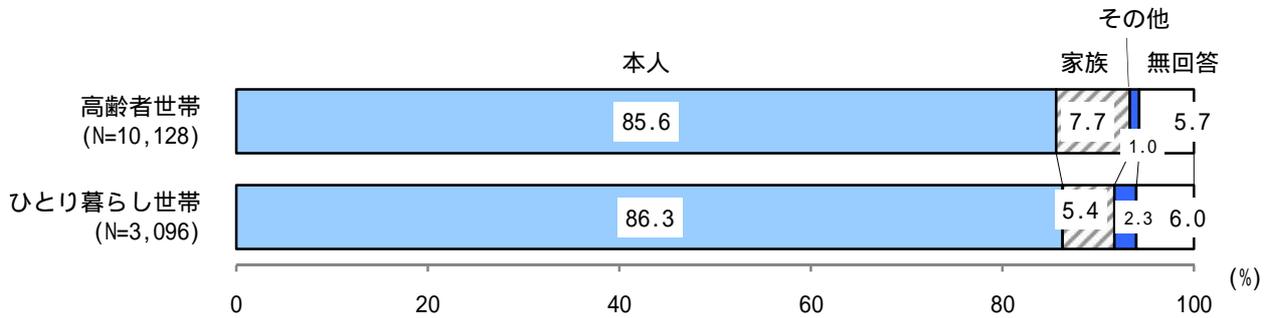
「ひとり暮らし世帯」回答結果



## (2) 本人調査における「ひとり暮らし世帯」回答結果(世帯比較)

### 問1 調査票記入者

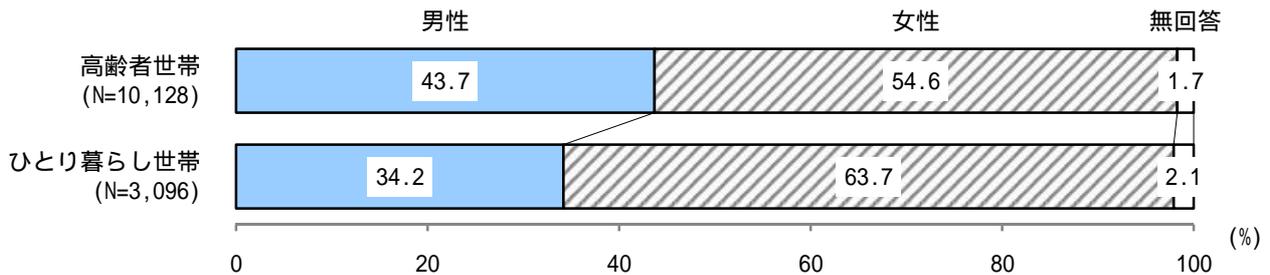
【図1 調査票記入者】



ひとり暮らし世帯の回答者の「調査票記入者」は、86.3%が「本人」となっており、高齢者世帯全体よりやや高い。(図1)

### 問2 (1) 性別

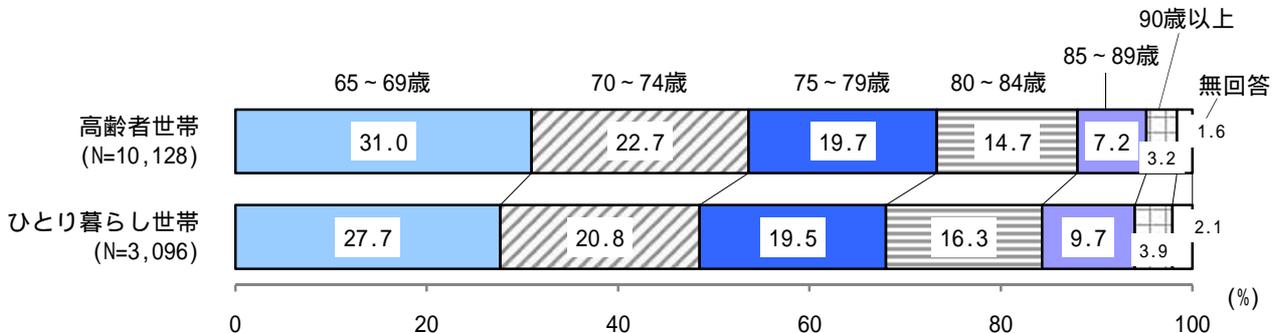
【図2(1) 調査回答者の性別】



ひとり暮らし世帯の回答者の「性別」については、「男性」が34.2%、「女性」が63.7%となっており、高齢者世帯全体より「女性」の割合が1割程度高くなっている。(図2(1))

### 問2 (2) 年齢

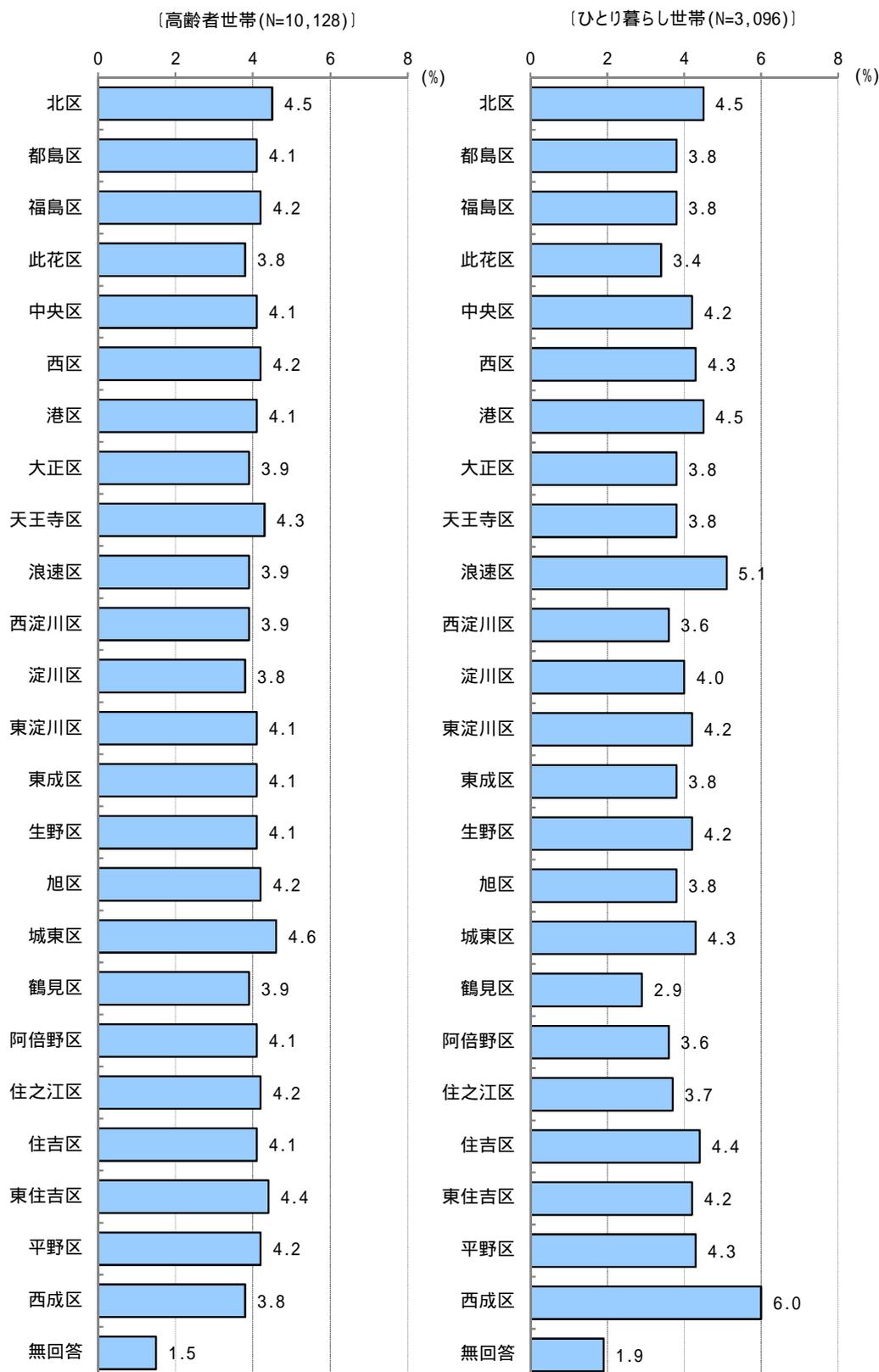
【図2(2) 調査回答者の年齢】



ひとり暮らし世帯の回答者の「年齢」については、前期高齢者(65~74歳)が48.5%、後期高齢者(75歳以上)が49.4%となっており、高齢者世帯全体と比べ、前期高齢者の割合がやや低く、後期高齢者の割合がやや高くなっている。(図2(2))

問2 (3) 居住区

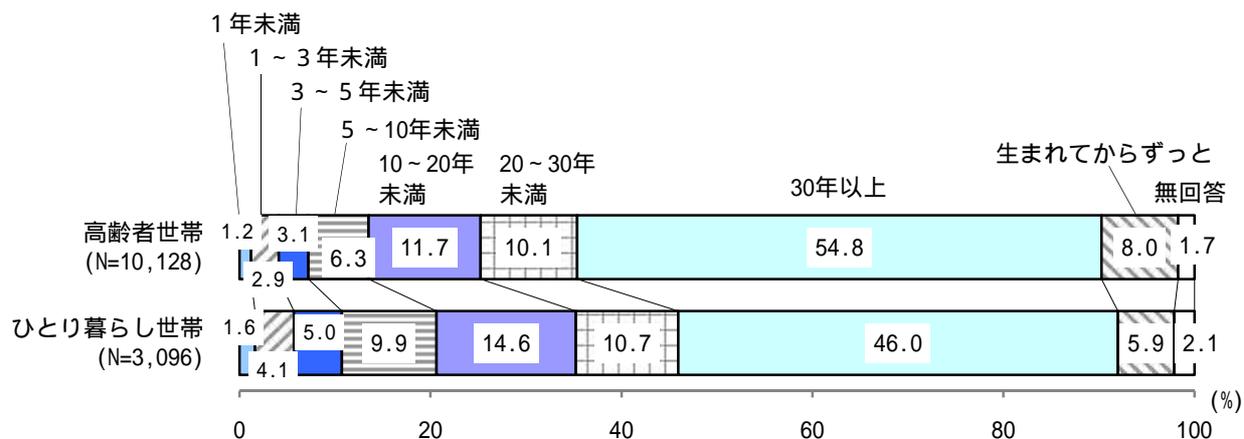
【図2(3) 居住区】



ひとり暮らし世帯の回答者の「居住区」については、「西成区」が6.0%で最も多く、次いで「浪速区」が5.1%となっており、高齢者世帯全体と比べて回答割合が高くなっている。(図2(3))

問2 (4) 居住区の在住年数

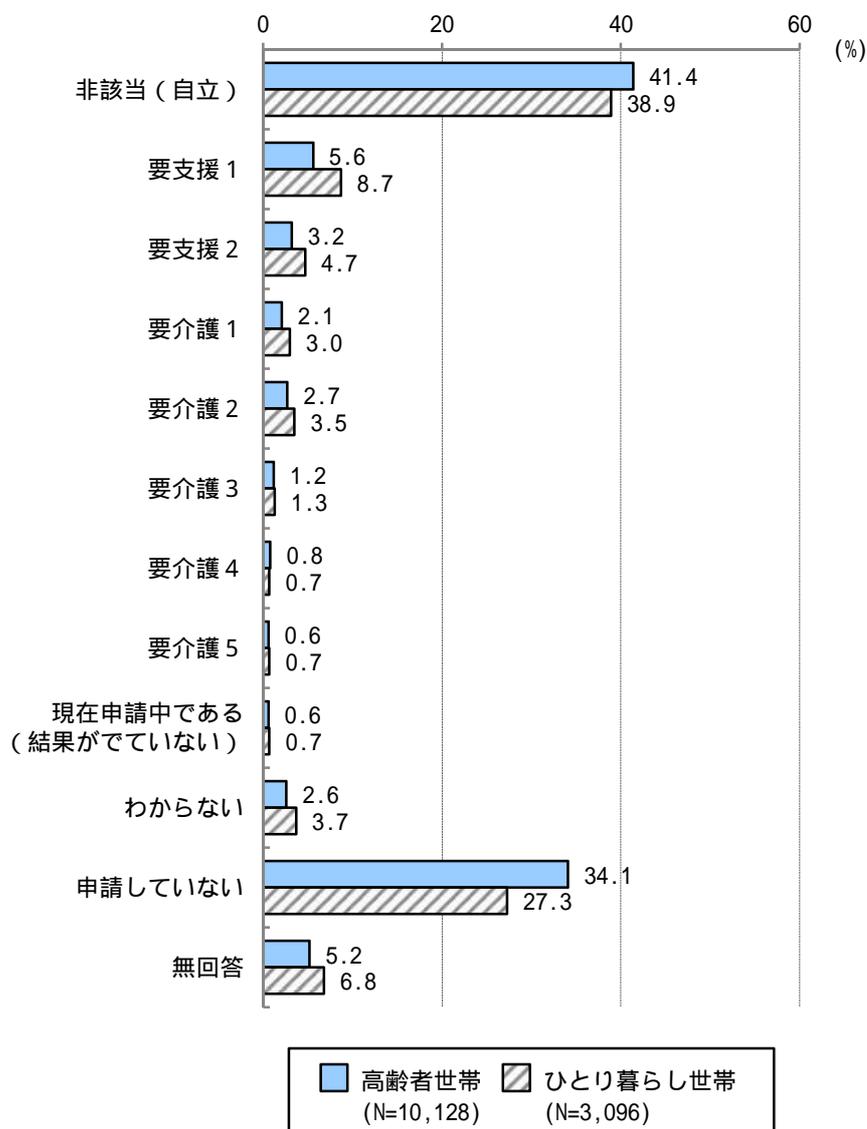
【図2(4) 居住区の在住年数】



ひとり暮らし世帯の回答者の「居住区の在住年数」については、「30年以上」が46.0%で最も多く、次いで「10~20年未満」が14.6%となっており、20年未満の人の割合が高齢者世帯全体と比べて高くなっている。(図2(4))

問4 介護保険の申請・認定の状況

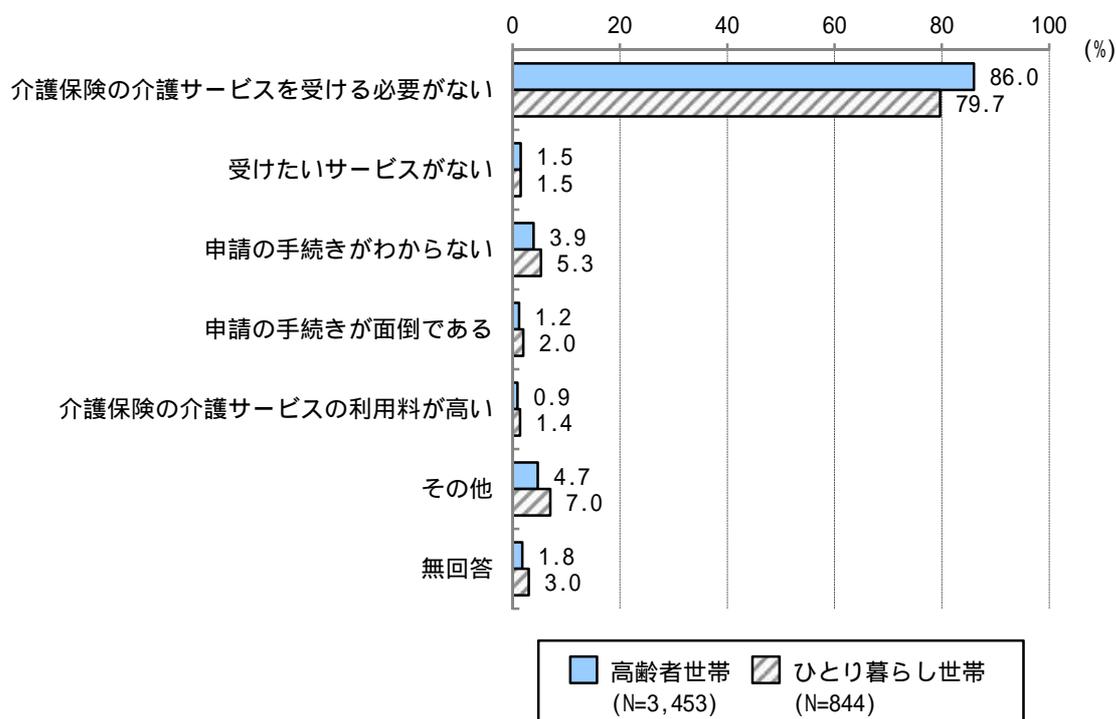
【図4 介護保険の申請・認定の状況】



ひとり暮らし世帯の回答者の「介護保険の認定申請及び認定状況」については、「非該当(自立)」が最も多く38.9%であり、次いで「申請していない」が27.3%となっている。高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、「要支援1」から「要介護3」までは、高齢者世帯全体に比べてひとり暮らし世帯の方が回答割合がやや高くなっている。(図4)

問4-1 申請をしていない理由

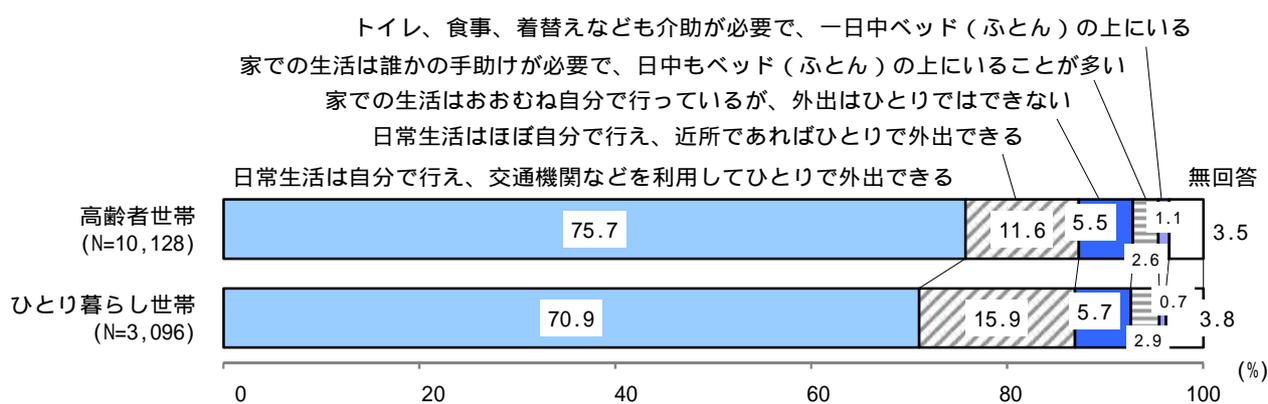
【図4-1 申請をしていない理由】



ひとり暮らし世帯の回答者の「申請をしていない理由」については、「介護保険の介護サービスを受ける必要がない」が79.7%を占め最も多く、高齢者世帯全体と同様の傾向となっている。(図4-1)

問5 日常生活動作・日常的な活動の状況

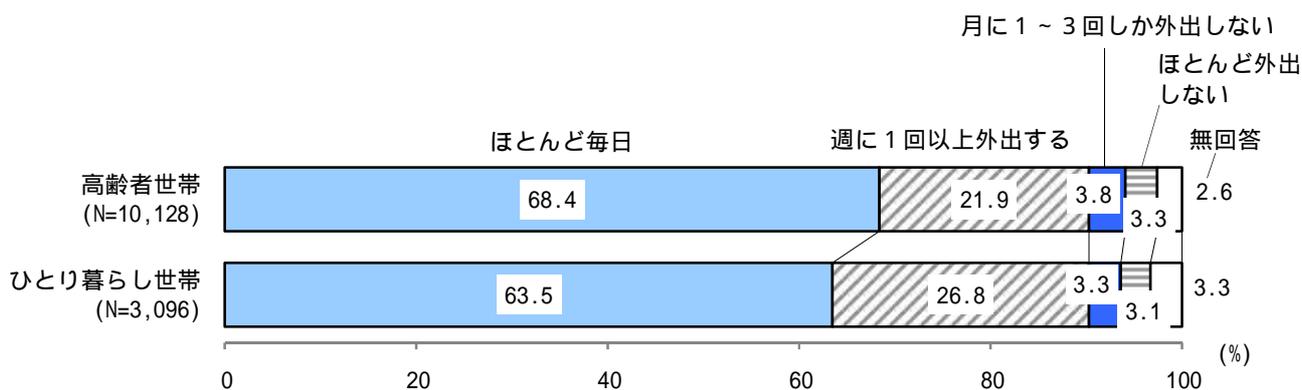
【図5 日常生活動作・日常的な活動の状況】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活動作・日常的な活動の状況」は、「日常生活は自分で行え、交通機関などを利用してひとりで外出できる」が最も多くなっているが、高齢者世帯全体よりはやや低い割合となっている。「日常生活はほぼ自分で行え、近所であればひとりで外出できる」をあわせた『日常生活はほぼ自分で行え、外出ができる』の割合は、ひとり暮らし世帯、高齢者世帯全体とも87%程度であり、高齢者世帯全体よりやや低い。(図5)

## 問6 外出の頻度

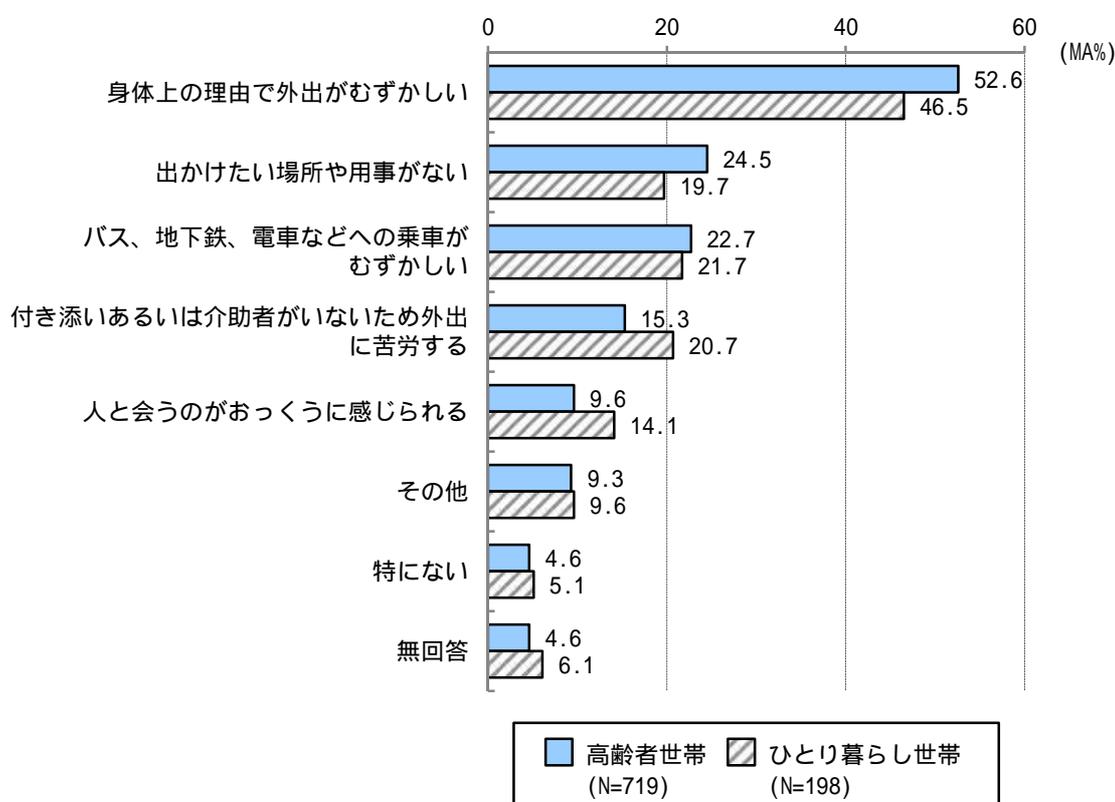
【図6 外出の頻度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「外出の頻度」については、「ほとんど毎日」が最も多いが、高齢者世帯全体と比べると、回答割合がやや少ない。「週に1回以上外出する」については、ひとり暮らし世帯の方がやや高くなっており、「ほとんど毎日」を含めた『週1回以上外出する』方の割合は、高齢者世帯全体、ひとり暮らし世帯とも90.3%となっている。(図6)

### 問6-1 外出しない(少ない)理由

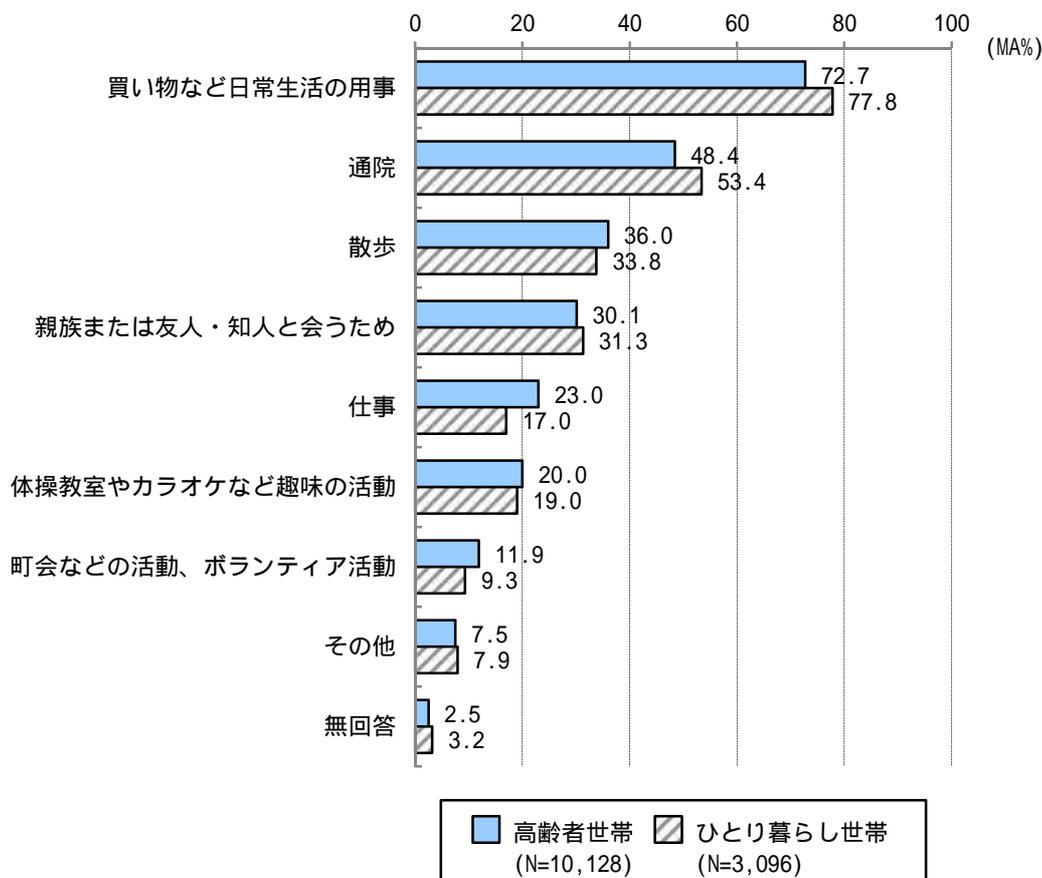
【図6-1 外出しない(少ない)理由】



ひとり暮らし世帯の回答者の「外出しない(少ない)理由」については、「身体上の理由で外出がむずかしい」が46.5%で最も多いが、高齢者世帯全体より6.1ポイント低くなっている。一方、「付き添いあるいは介助者がいないため外出に苦労する」は高齢者世帯全体より5.4ポイント高くなっている。(図6-1)

問7 外出するときの目的

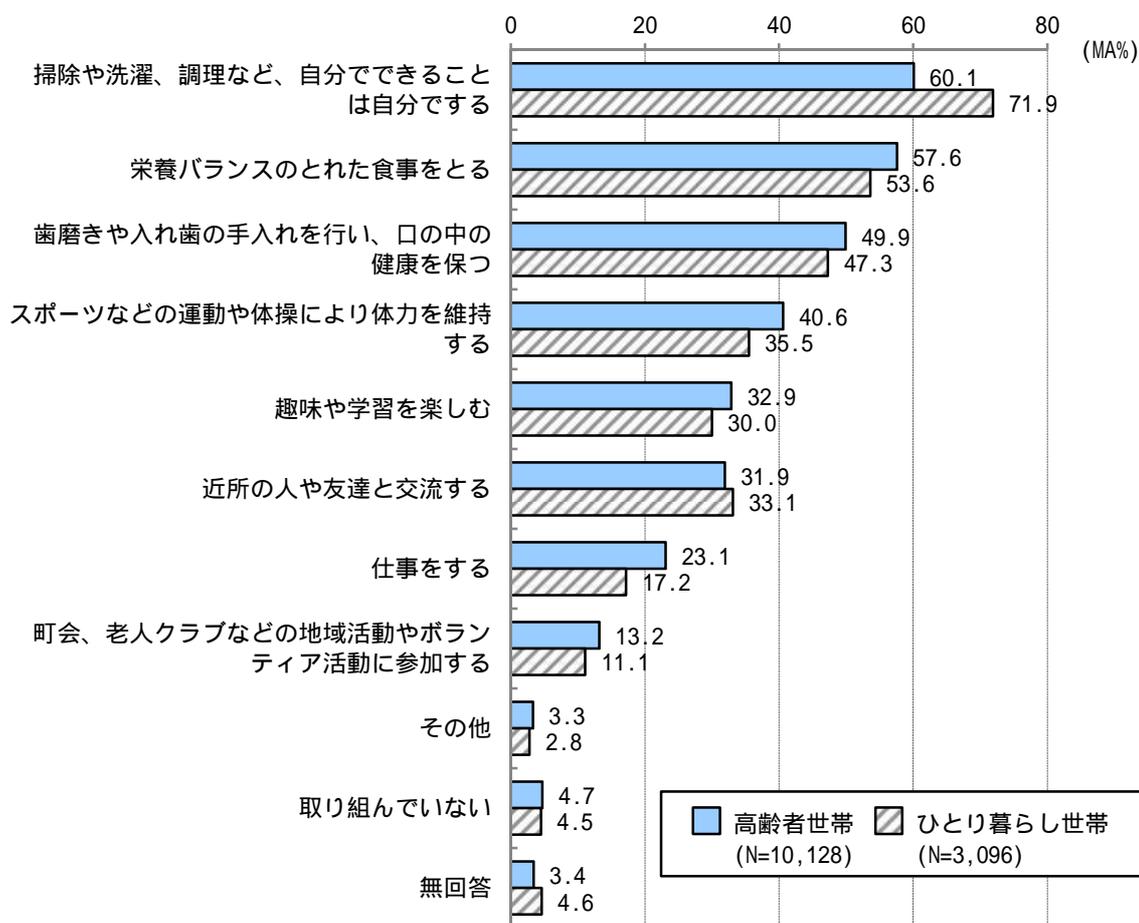
【図7 外出するときの目的】



ひとり暮らし世帯の回答者の「外出するときの目的」については、「買い物など日常生活の用事」が77.8%で最も多く、次いで「通院」が53.4%となっており、「買い物など日常生活の用事」は高齢者世帯全体より5.1ポイント高くなっている。(図7)

問 8 介護予防のための取組み

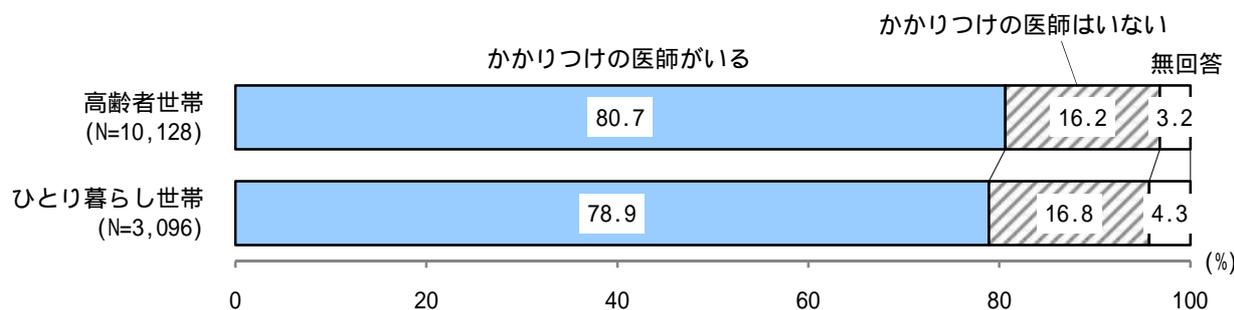
【図8 介護予防のための取組み】



ひとり暮らし世帯の回答者の「介護予防のための取組み」については、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が71.9%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」となっている。高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合は1割程度高くなっている。(図8)

問9 かかりつけの医師の有無

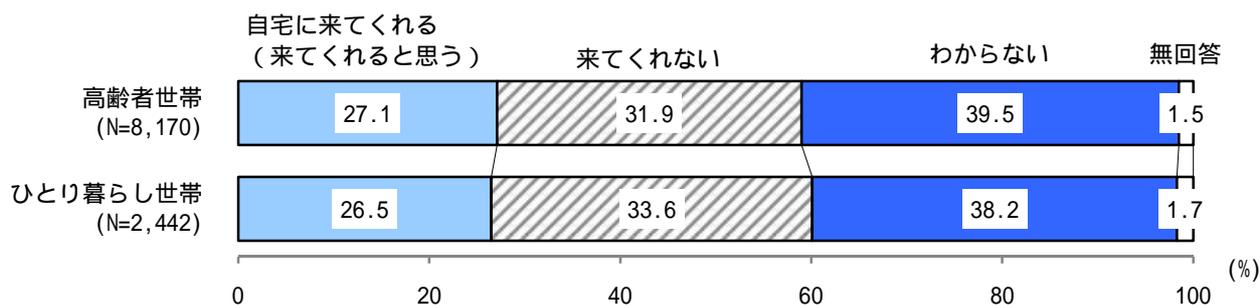
【図9 かかりつけの医師の有無】



ひとり暮らし世帯の回答者の「かかりつけの医師の有無」については、「かかりつけの医師がいる」が78.9%であり、高齢者世帯全体よりやや低くなっている。(図9)

問9-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療

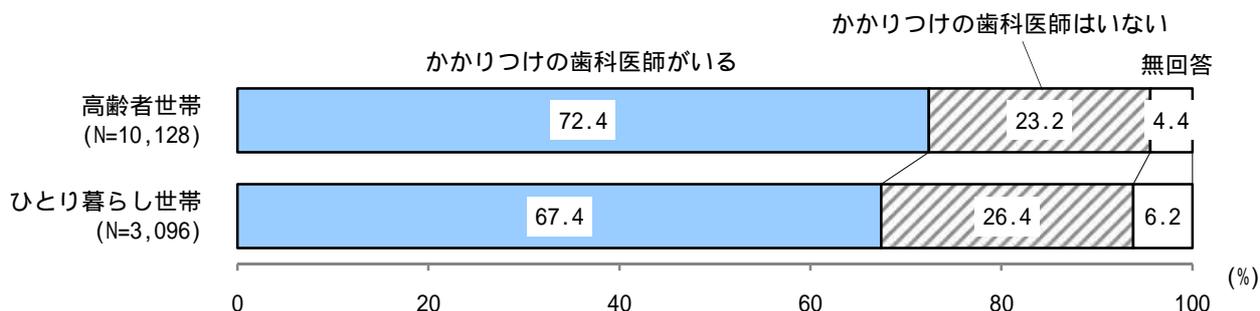
【図9-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療】



かかりつけ医がいる回答者の「通院出来なくなった場合の医師による訪問診療」については、ひとり暮らし世帯の回答者は「わからない」が38.2%で最も多く、高齢者世帯全体比でも同様の傾向となっている。(図9-1)

問10 かかりつけの歯科医師の有無

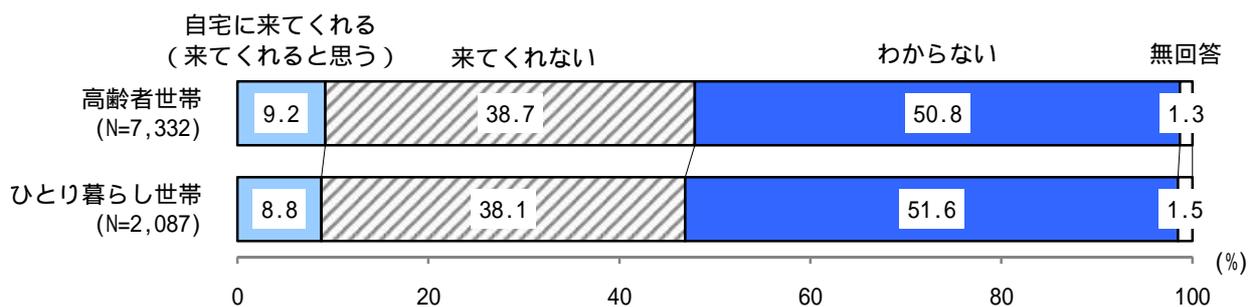
【図10 かかりつけの歯科医師の有無】



ひとり暮らし世帯の回答者の「かかりつけの歯科医師の有無」については、「かかりつけの歯科医師がいる」が67.4%であり、高齢者世帯全体よりやや低くなっている。(図10)

問10-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問歯科診療

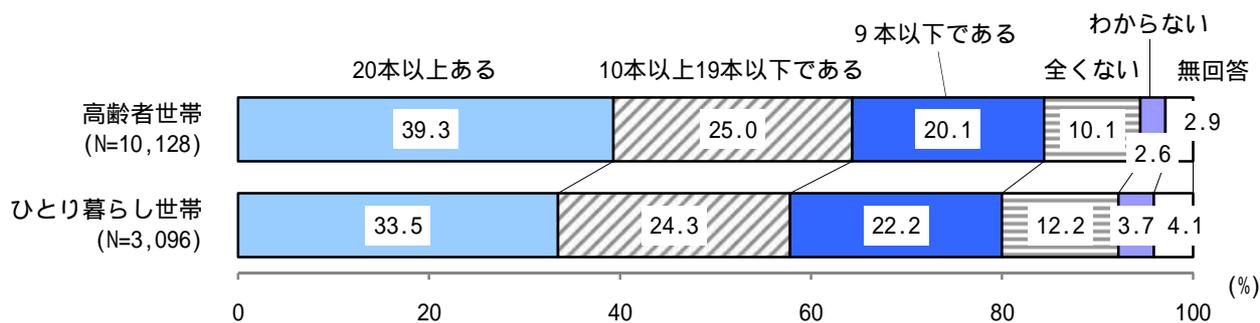
【図10-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問歯科診療】



かかりつけの歯科医師がいる回答者の「通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問歯科診療」については、ひとり暮らし世帯の回答者は「わからない」が51.6%で最も多く、高齢者世帯全体比べても同様の傾向となっている。(図10-1)

## 問11 歯の本数

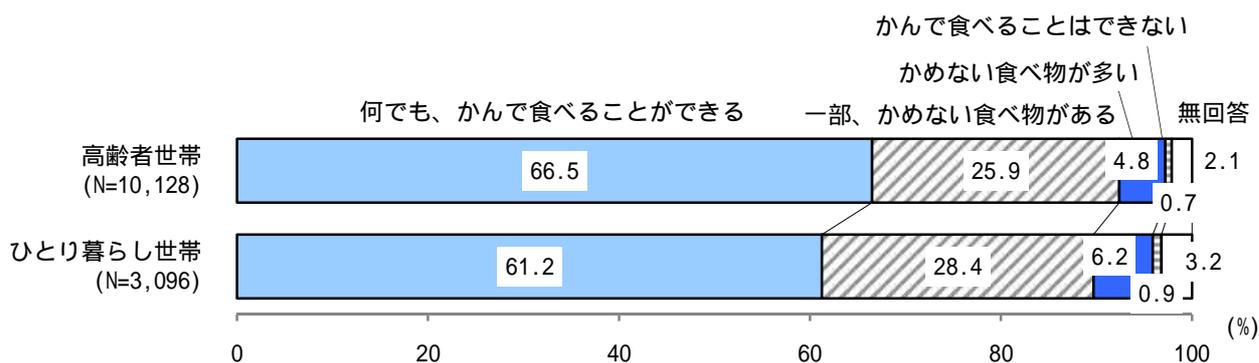
【図11 歯の本数】



ひとり暮らし世帯の回答者の「歯の本数」については、「20本以上ある」が33.5%で最も多く、次いで「10本以上19本以下である」が24.3%となっているが、高齢者世帯全体と比べて回答割合が低く、9本以下との回答割合がひとり暮らし世帯のほうが高くなっている。(図11)

## 問12 かねで食えるときの状態

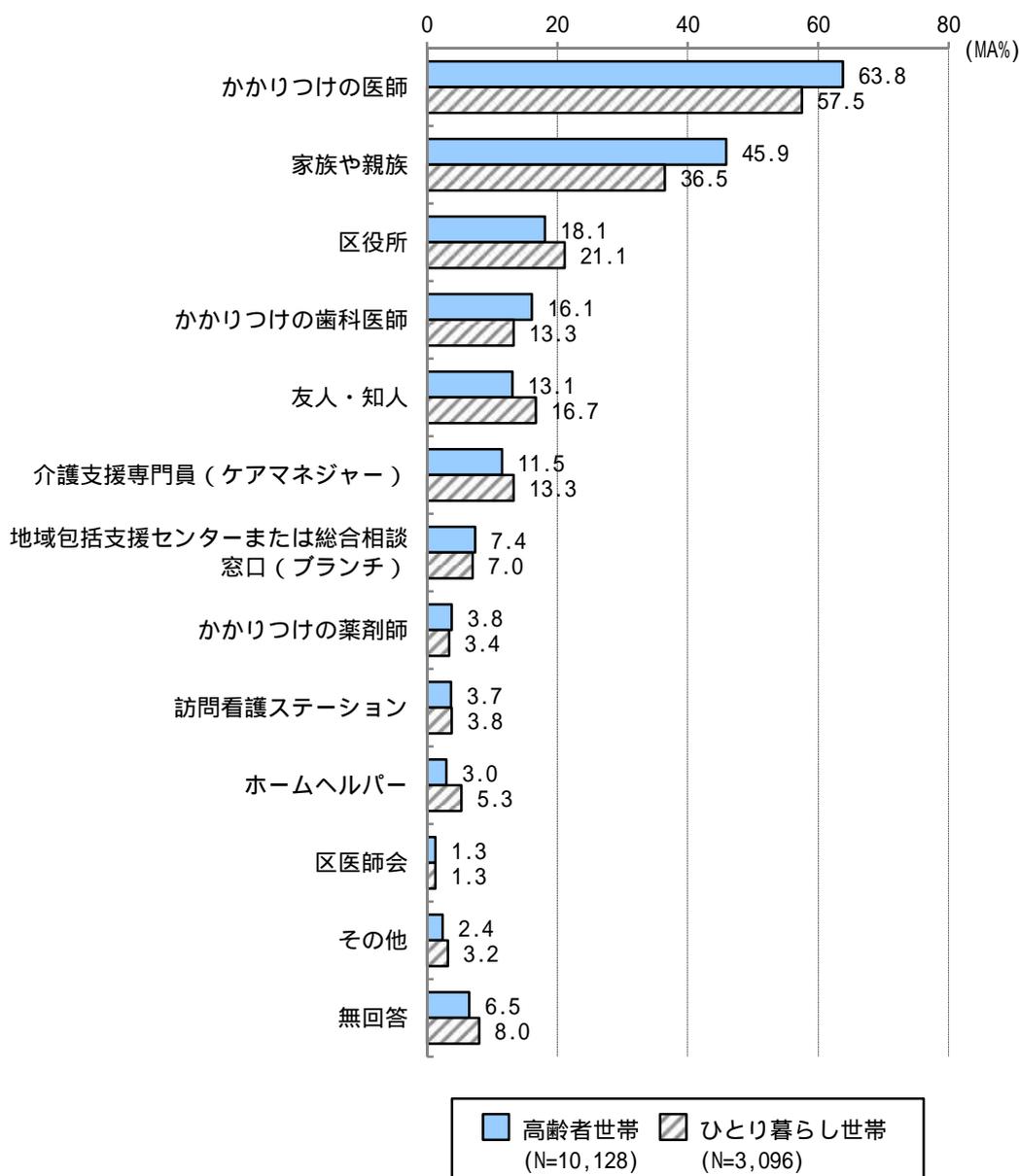
【図12 かねで食えるときの状態】



ひとり暮らし世帯の回答者の「かねで食えるときの状態」については、「何でも、かねで食べることができる」が61.2%で最も多いが、高齢者世帯全体より5.3ポイント低くなっている。(図12)

問13 医療の相談先

【図13 医療の相談先】



ひとり暮らし世帯の回答者の「医療の相談先」については、「かかりつけの医師」が57.5%で最も多く、次いで「家族や親族」が36.5%となっているが、「区役所」、「友人・知人」、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」、「訪問看護ステーション」、「ホームヘルパー」の回答割合は高齢者世帯全体よりやや高くなっている。(図13)